

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

1 評価機関

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 名 称    | 特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター   |
| 所 在 地  | 千葉県松戸市稔台7-12-6コートルピナス102 |
| 評価実施期間 | 2025年6月10日～2025年10月20日   |

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

|               |   |     |              |
|---------------|---|-----|--------------|
| 名 称<br>(フリガナ) | AIAI NURSERY高柳<br>アイアイナーサリータカヤナギ  |     |              |
| 所 在 地         | 〒277-0941<br>千葉県柏市高柳1493-1  |     |              |
| 交通手段          | 徒歩・車・自転車・電車   |     |              |
| 電 話           | 04-7197-5281  | FAX | 04-7197-5282 |
| ホームページ        | <a href="http://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/takayanagi">http://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/takayanagi</a> |     |              |
| 経営法人          | AIAI Child Care株式会社   |     |              |
| 開設年月日         | 2022年4月1日   |     |              |
| 併設しているサービス    | AIAI PLUS (児童発達支援、保育所等訪問支援)   |     |              |

(2) サービス内容

|        |                                     |     |       |      |      |         |       |  |  |
|--------|-------------------------------------|-----|-------|------|------|---------|-------|--|--|
| 対象地域   | 柏市                                  |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 定 員    | 0歳児                                 | 1歳児 | 2歳児   | 3歳児  | 4歳児  | 5歳児     | 合計    |  |  |
|        | 6                                   | 12  | 18    | 18   | 18   | 18      | 90    |  |  |
| 敷地面積   | 1682.07㎡                            |     |       | 保育面積 |      | 629.32㎡ |       |  |  |
| 保育内容   | 0歳児保育                               |     | 障害児保育 |      | 延長保育 |         | 夜間保育  |  |  |
|        | 休日保育                                |     | 病後児保育 |      | 一時保育 |         | 子育て支援 |  |  |
| 健康管理   | 内科健診年2回・歯科健診年1回・毎月の身体測定             |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 食事     | 朝おやつ(0,1,2歳児のみ)、昼食、午後おやつを提供         |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 利用時間   | 午前7時00分～午後7時00分(土曜:午前7時00分～午後6時00分) |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 休 日    | 日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)             |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 地域との交流 | 幼保こ小連携・小学校交流・保育体験、子育て相談             |     |       |      |      |         |       |  |  |
| 保護者会活動 | 年2回開催                               |     |       |      |      |         |       |  |  |

(3) 職員（スタッフ）体制

| 職 員   | 常勤職員         | 非常勤、その他 | 合 計     | 備 考 |
|-------|--------------|---------|---------|-----|
|       | 11人          | 13人     |         |     |
| 専門職員数 | 保育士(幼稚園教諭含む) | 看護師     | 栄養士     |     |
|       | 18人          | 0人      | 1人      |     |
|       | 保健師          | 調理師     | その他専門職員 |     |
|       | 0人           | 2人      | 0人      |     |
|       |              |         |         |     |
|       |              |         |         |     |
|       |              |         |         |     |

(4) サービス利用のための情報

|             |                         |    |  |
|-------------|-------------------------|----|--|
| 利用申込方法      | 柏市保育運営課へ申し込み            |    |  |
| 申請窓口開設時間    | 午前8時30分～午後5時15分         |    |  |
| 申請時注意事項     | 就労証明書、母子手帳持参 面接有        |    |  |
| サービス決定までの時間 | 前月5日までに申請               |    |  |
| 入所相談        | 柏市保育運営課へ相談              |    |  |
| 利用代金        | 所得に応じて市が定める額            |    |  |
| 食事代金        | 副食費 月額5000円 主食費 月額1000円 |    |  |
| 苦情対応        | 窓口設置                    | あり |  |
|             | 第三者委員の設置                | あり |  |

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

|                     |   |
|---------------------|---|
| サービス方針<br>(理念・基本方針) | <p>保育理念：一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ、笑顔と元気が溢れた園を創造すること</p> <p>向上目標：人間関係の向上・精神衛生の向上・人間力の向上</p> <p>育成目標：社会力の育成・用語力の育成・人間力の育成</p> |
| 特 徴                 | <p>AIAIグループでは、東京都、千葉県、神奈川県、大阪市内で認可保育所（AIAI NURSERY）と児童発達支援（AIAI PLUS）を展開しています。</p>  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 利用（希望）者<br>へのPR | <p>子ども達にとって「もう一つの家」として安心して過ごせるような保育園でありたいと日々保育に従事しています。</p> <p>また、一人一人の個性を尊重し、一人ひとりにあった保育や援助ができるよう、職員一同心がけています。</p> <p>食育の一環として、園庭にある畑で季節の野菜を自分たちで育て、収穫やクッキングを定期的におこなっています。</p> <p>小学校入学を見据えて、一人ひとりに個別の机と椅子を用意した学習室を備えるとともに、文字や数字の読み書き、英語に親しむ知識教育プログラムや、数や数量の感覚、課題解決力を育む思考教育プログラムを導入し、充実した幼児教育カリキュラムを実施しています。</p> <p>またオリジナルの大型遊具「AINI」など、安全・安心に配慮しながら遊びを通じた学びの環境を整備し、子ども達の成長をサポートしています。</p> |
|-----------------|--|

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること

1. 職員間の良好な関係により連携を図り、保育実践を楽しめるよう取り組んでいます。

保育理念である「一人でも多くのこどもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ、笑顔と元気が溢れた園を創造する」ために、自らが保育する喜びを感じて「保育を楽しむ」ことを園全体目標に掲げています。職員の経験知や価値観、信条が影響して実践方法や優先順位に統一感がない場合、円滑な保育の取り組みを妨げる可能性があります。そこで、園では良好な関係によるチームワークを促進するように、繰り返し意見交換して検討する、個々の業務の見える化を図る、助け合い連携する等に取り組み、朝礼や昼礼、申し送り体制、会議運営の充実化に務めています。また、行事後の定期的な食事会や親睦会を開くことで、職員相互に別の側面から理解し認め合う等の効果をもたらし、怒らない、否定しない、助けるといった連携に繋げ信頼関係の構築を図っています。このように、こどもにとってより良い保育の提供を目指して、職員自身も充実し楽しさを実感できるよう取り組んでいます。

2. 子どもの主体性を育む環境づくりに努め保育実践に取り組んでいます。

「もうひとつの家」という温かく家庭的な空間づくりを保育の根幹に据え、こどもが安心して自分らしく過ごせる環境を整えることに力を注いでいます。保育者との信頼関係を土台に、こども一人ひとりの「やってみたい」「好き」という気持ちを尊重しながら、自発性やモラルを育む保育を実践しています。こうした理念は「保育10か条」として明文化され、職員全体で共有されており、日々の保育の中で自然に根付いています。教育的な取り組みとしては、異年齢保育(縦割り保育)を取り入れ、年齢や発達段階に応じた関わりを通して、こどもが自分で考え、選び、行動する力を育てています。また、英語・算数・体操等のプログラムを導入し、知性や感性や創造力を伸ばすとともに、他者との関わりを通じた社会性の育成にもつながっています。五感を使った体験的な活動にも力を入れており、自園調理による温かい給食や、季節ごとの行事、園外活動を通して、こどもたちが自然や地域社会とつながりながら、身体的・情緒的な成長を促されています。こうした取り組みは、こどもたちが自分自身の可能性を発見し、主体的に生きる力を育むための大切な土壌となっています。保育者の言葉がけや見守りの姿勢も、こどもの自発性を尊重する関わり方が徹底しています。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 非常勤職員の研修参加を促す取り組みの検討を望みます。

職員の教育・研修に関する基本方針を明示して、個別育成計画や目標が明確になっています。教材はオリジナルの教本やeラーニング等を完備し、またスキルアップやキャリアアップを目指して、勤務時間内に園内外の研修プログラムに参加する体制を整備しています。現在、非常勤職員に対しては全員参加が必修のコンプライアンス研修のほか、救命救急講習(土曜日の出勤者)への研修参加を促しています。一般的に経済的・社会的・制度的な要因やライフスタイルの多様化、或いは子育てと両立のしやすさによる潜在保育士の就職などの理由から、非常勤職員の増加が示唆されています。このように非常勤職員が園を支える現状や役割を鑑みて、研修参加を促すための情報提供や参加内容等を検討し、さらに充実化を図るよう望みます。そして非常勤職員の保育実践への動機付けにつなげ、より園への貢献度が高まるよう期待します。

2. 異年齢保育の質を高めるための環境の構築を望みます。

異年齢保育では年齢差による理解力や身体能力の違いを踏まえた柔軟な活動内容や関わり方で、こども一人ひとりが安心して参加できるように支援が行き届くよう環境の整備が重要です。こうした異年齢保育の目的と現状の課題について、職員間で十分に話し合い周知したうえで、安全面への配慮や対応の統一を図るよう保育計画や環境調整が不可欠といえます。また園全体目標に「職員/保護者との信頼関係を築く」ようコミュニケーションに努めており、保護者や職員同士とのコミュニケーション能力の向上で具体的な成果を実感しています。さらに良好な関係を築いて「報告・連絡」から「協働・信頼」へと発展させ、保育の質と満足度の向上につがるよう期待します。特に異年齢保育に関するねらいやこども同士の関わりを保護者に丁寧に伝えながら、「共感」「具体性」「一貫性」を意識したコミュニケーションで安心感と納得感を高めるなど、こどもや保護者とのコミュニケーションの工夫にも期待しています。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

今回評価していただいた園で力を入れている取組みについては、継続して取り組んでいきたい  
と思います。非常勤職員の研修参加については、勤務時間が短い職員については難しい面もあ  
りますが、よりよい保育実践の為に園としても必要と考えていた為、参加出来るような研修の情報  
提供や参加の促しについて積極的に取り組むことで、園全体のさらなる保育力向上を目指して参  
ります。また園が子ども達や保護者の皆様にとって「もうひとつの家」となるよう引き続き、  
取組みのねらいや様子を丁寧に伝えていきたいと思っております。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

| 大項目   | 中項目                                    | 小項目                               | 項目   | 標準項目 |       |
|---|--|-----------------------------------|--|------|-------|
|   |  |                                   |  | ☑実施数 | ☐未実施数 |
| I<br>福祉サービスの基本方針と組織運営                             | 1 理念・基本方針                              | 理念・基本方針の周知                        | 1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。   | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。  | 3    | 0     |
|   | 2 計画の策定                                | 計画の適正な策定                          | 3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。 | 7    | 0     |
|   |  |                                   | 4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。  | 4    | 0     |
|   | 4 人材の確保・養成                             | 人事管理体制の整備                         | 5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。  | 3    | 0     |
|   |  |                                   | 6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。            | 7    | 0     |
|   |  |                                   | 7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。                                       | 5    | 0     |
|   |  | 職員の質の向上への体制整備                     | 8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。   | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。   | 5    | 0     |
| 10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。 |  |                                   | 3  | 0    |       |
| II<br>適切な福祉サービスの実施                                | 1 利用者本位の保育                             | 利用者尊重の明示                          | 11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。   | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。  | 4    | 0     |
|   |  | 利用者意見の表明                          | 13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。   | 4    | 0     |
|   | 2 教育及び保育の質の確保                          | 教育及び保育の質の向上への取り組み                 | 14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。                                   | 3    | 0     |
|   |  |                                   | 15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。                          | 4    | 0     |
|   | 3 教育及び保育の開始・継続                         | 教育及び保育の適切な開始                      | 16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。  | 2    | 0     |
|   |  |                                   | 17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。  | 4    | 0     |
|   | 4 子どもの発達支援                             | 教育及び保育の計画及び評価                     | 18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。   | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。   | 5    | 0     |
|   |  | 項目別実施サービスの質                       | 20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。  | 6    | 0     |
|   |  |                                   | 21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                           | 5    | 0     |
|   |  |                                   | 22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                            | 5    | 0     |
|   |  |                                   | 23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                            | 5    | 0     |
|   |  |                                   | 24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。  | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。   | 6    | 0     |
|   |  |                                   | 26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。  | 6    | 0     |
|   |  |                                   | 27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。  | 4    | 0     |
|   |  |                                   | 28 家庭との連携が十分図られている。  | 3    | 0     |
|   |  |                                   | 29 地域社会との連携が十分図られている。  | 3    | 0     |
| 30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。          |  |                                   | 3  | 0    |       |
| 子どもの健康支援  | 31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。 | 3                                 | 0  |      |       |
|   | 32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。               | 4                                 | 0  |      |       |
|   | 33 食育の推進に努めている。                        | 5                                 | 0  |      |       |
| 5 安全管理  | 環境と衛生                                  | 34 環境及び衛生管理は適切に行われている。            | 3  | 0    |       |
|   |  | 35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。       | 4  | 0    |       |
|   | 災害対策                                   | 36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。 | 6  | 0    |       |
| 6 地域  | 地域子育て支援                                | 37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。    | 5  | 0    |       |
|   |  | 計                                 | 159  | 0    |       |

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

| 評価項目   | 標準項目  |
|--|---|
| 1<br>理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。              |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。                         |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。                        |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。                                |
| <p>(評価コメント)</p> <p>保育理念や事業目標を園案内パンフレット、ホームページ等に明記し、園のエンタランスにも掲示しています。全職員に配布する法人独自で作成した冊子「社史」や「就労の心得」、「保育者10か条」等から理念や方針の目指す方向や使命が読み取れます。毎月の職員会議で理念を唱和し言葉にすることで意識づけるように取り組んでいます。新規採用者の研修では理念や方針について詳しい説明を行い理解を図ります。「理念の因数分解」と称して言葉の意味を深掘りして解釈の共有を図り、実践面の振り返りから今後の業務にどのよう活かすか考察しています。理念に基づく実践面について、余裕をもって「保育を楽しむ」ことを園全体目標の一つに挙げ、業務の見える化を図り保育士間の連携の強化に取り組んでいます。</p>                                |   |
| 2<br>理念や基本方針が利用者等に周知されている。   | <input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。                          |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。                                 |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。                              |
| <p>(評価コメント)</p> <p>入園前の園見学や全体説明会では、保護者に理念や方針を重要事項説明書やリーフレットを使用して説明し、また誰でも確認できるように玄関に掲示し理解を図るように取り組んでいます。ホームページや園だより、園のブログ(写真付きドキュメンテーション)で保育活動やこどもの様子を公開しています。保護者懇談会ではクラス活動方針や保育士の取り組み等の実践面について伝えています。入園後の保護者との個人面談では一人ひとりの質問や疑問について丁寧な対応に努めています。</p>  |   |
| 3<br>事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。  | <input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。                                 |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。                              |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。              |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。  |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。              |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。                          |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>法人の作成する中・長期計画、事業計画に基づき、施設長が園の状況や環境及び職員の意向を集約し、加味して現状に沿う事業計画を作成しています。作成にあたり主任や副主任が中心的な役割を担い、全職員で共通認識できるよう繰り返し話し合い保育の質の向上に努めています。運営体制では本社保育事業本部において施設長を対象とする法人会議で全体の動向を把握し、職員の意見を反映して策定されるほか、方針決定の会議過程や決定事項を全職員に、その都度、報告や連絡して周知を図っています。また、円滑な園の運営に向けて本部の担当者が園を訪問(年1回)し、整備すべき書類の確認、保育状況や保育環境等をチェックリストを用いて監査する取り組みを行っています。</p>  |   |
| 4<br>理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組む指導力を発揮している。   | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。            |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。                           |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。                           |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。                               |
| <p>(評価コメント)</p> <p>毎月の職員会議の他、カンファレンス会議、乳幼児会議などで重要課題について協議し、解決に向けた具体的な方針として園全体目標を掲げています。今年から職員の連携の強化を図るため、職員の希望によって乳児会議(2か月毎)、幼児会議(毎月)を開催しています。また定期的に個別面談を実施し、職員との対話を通じて課題や状況を把握し必要なサポートを行っています。個別面談では園内に個別の面談場所を設け、職員が安心して話ができる環境を整えています。さらに職員の人間関係を良好に保つ為に行事後の食事会や親睦会を企画するなど非常勤職員も参加できるように配慮しながら良好な関係構築に取り組んでいます。</p>   |   |
| 5<br>全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。   | <input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。                                     |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。                        |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。                                   |
| <p>(評価コメント)</p> <p>全職員参加が必須のコンプライアンス研修(毎年)を通じて、法令やプライバシーに関する知識を深め、意識の向上に努めています。新入社員を対象としたスタートアップ研修では保育従事者として守るべき倫理及び法令遵守等について研修を行っています。職員の行動指針や倫理・道徳などを記載している「社史」及び就業規則、経験年数に応じたテキスト等を配布し日常的に確認できるようにしています。全職員は「虐待の芽チェックシート」を記入(年2回以上)して振り返り、研修受講や指導により不適切な対応防止の周知徹底を図っています。また一人で保育の悩みを抱えないように他クラスとも連携し、風通しよく気遣いながら声を掛け合っています。また「コンプライアンス違反通報窓口」として職員休憩室にQRコードを掲示し、本部に直接匿名で相談ができる体制にしています。</p> |   |
| 6<br>事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。   | <input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。                               |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。                                |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。               |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。                       |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。  |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。                                |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。                  |

|          |   |  |  |
|----------|---|--|--|
| (評価コメント) |   | <p>連絡帳アプリや午睡センサー(CCS)等のICTを活用して業務の効率化を図り、子どもや保育士、保護者との時間を増やすよう務めています。法人担当課で人事管理や給与計算を行い、園スタッフの事務的負担を軽減しています。また勤務体制はシフト制を採用し施設長が毎月法人へ報告し、シフト希望などを聞き取りながら職員への休暇について相談できる体制を整えています。有給休暇のほか、リフレッシュ休暇(3日)や誕生日休暇を設け、希望に応じて休暇が取得できるよう互いに重複を避けたり、他クラスからの支援により調整を図っています。所定の残業時間を超えた場合は自動的に通知があり、施設長は定期的に職員の休暇や時間外労働のチェックを行い、必要に応じて人員配置を見直すなど残業時間の削減に努めています。また時間外勤務が多い職員には現状の業務内容のヒアリングを行い、時間確保などの支援を行っています。</p> |  |
| 7        | 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。<br><input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。<br><input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。<br><input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。   |  |
| (評価コメント) |   | <p>法人で人事方針を策定し、キャリアパスフレーム(職能等級表)や共通基礎課程という人材育成の計画を明確にeラーニングで受講する体制を整備して、新卒研修から施設長研修など各キャリアに合わせた研修制度に取り組んでいます。年に一度、施設長のもとで役職の見直しを実施し、本人との面談を経て決定された役割や権限について口頭及び文書にて周知しています。人事課は人事評価シートを活用した明確な評価基準のもと、客観性や透明性の確保を図っています。職員は毎年、自己評価を作成して目標を設定したうえで、施設長と振り返りや達成度について相互に確認し、合意した評価結果を本部に報告し給与査定に反映しています。目標達成状況に関するアドバイスや指導は施設長が行い、場合によっては母店施設長(ブロックを管轄する施設長)が担当しています。</p>                                 |  |
| 8        | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。        | <input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。<br><input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。<br><input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。  |  |
| (評価コメント) |   | <p>法人の人事方針や策定に関する通達を職員会議などで共有しています。その人事方針に基づき、担当課と連携して新卒や中途社員を採用し、各市区町村で行われる採用フェスタ等に参加しています。また学生や就職支援制度を活用し実際の園の様子を見てもらう機会を設ける等の人材確保にも力を入れています。人材育成計画ではキャリアパスを明確にして、個別育成計画をもとに研修体制を確立して充実したオリジナル教材や共有担当者によるOJT制度で人材育成に取り組んでいます。</p>  |  |
| 9        | 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。      | <input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。<br><input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。<br><input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。   |  |
| (評価コメント) |   | <p>新卒社員には3年間にわたり定期的な研修が実施され、「主任ライセンス」や「施設長ライセンス」などのライセンス制度を導入して明確な能力基準を設け取り組んでいます。保育実践に必要なスキルが身につくよう年間計画によりeラーニングで学べる環境を整備しています。また、新卒社員一人ひとりに対して専任の「共有担当者」を配置し、きめ細かい指導や育成する環境を整備しています。OJTではミーティングを実施しながら仕事における問題解決のサポートのみならず、仕事以外の相談事や悩みなどを共有して社会人一年目のハードルを乗り越えるよう支援し、共有担当者とともに成長を図るよう努めています。非常勤職員はコンプライアンス研修や救命救急講習に参加しています。</p>  |  |
| 10       | 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。  | <input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。  |  |
| (評価コメント) |   | <p>キャリアアップ研修、柏市主催の研修などに参加して、こどもの尊重や基本的人権について学び保育に反映しています。日常の援助ではこどもの意思や意見を尊重した関わりで、例えば、こどもが給食を「もう食べたくない」、排泄で「行きたくない」などと言う場合には無理強いしないよう努めています。日常的な援助場面では「遊びたい」、「作りたい」等、こどもの声を聴きながら寄り添い尊重しています。職員は年に最低2回(随時追加)「虐待の芽チェックシート」を活用して自身の保育を振り返る機会を設けています。また虐待に関するニュースや最新情報があった際には、その都度伝えるなど、職員内で虐待防止策について話し合う機会を設けています。家庭での虐待を発見した場合、対応フローチャートに沿い児童相談所等の関係機関と連携する体制を整えています。</p>                               |  |
| 11       | 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。                       | <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。  |  |
| (評価コメント) |   | <p>個人情報保護に関する方針はホームページや重要事項説明書に明示し、保護者に入園説明会で利用目的など資料に基づき説明を行っています。求めに応じて、氏名等の個人情報を伏せた形で情報を提供する体制にしています。園のブログ(ドキュメンテーション)等に掲載する写真について入園時に説明し承諾を得るとともに、行事で撮影した写真の取り扱い方を伝えて周知徹底を図っています。こどもの個人情報を記載している書類は事務室内の鍵付き書庫に保管し、職員は原則的に園外や各保育室への持ち出しを行わないよう徹底しています。実習生やボランティアには個人情報保護等に関してオリエンテーションで説明し、誓約書を取り交わしています。</p>   |  |
| 12       | 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。                  | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。<br><input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。<br><input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。   |  |

|   |  |
|---|--|
| (評価コメント)  |  |
| 夏祭りや運動会、発表会等の主な行事後に、保護者アンケートを実施して集計結果や主な意見、指摘事項に関する改善策を伝えています。行事の開催後の保護者会ではクラスの様子やアンケート結果について説明し理解を得る機会としています。要望や苦情、相談の内容を苦情報告書や育児相談シートに記録して職員間で対策を話し合い、改善に向けて迅速に取り組んでいます。また保護者代表、第三者委員、施設長及び主任(または副主任)で構成する運営委員会(年1回以上)を開催して、意見交換により運営に活かしています。運動会での防犯面に関する保護者からの要望に対応し、入口に男性職員を配置し、体育館ドアの開閉時に職員が待機するよう改善しました。 |  |
| 13  | 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。  |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。             |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。                                     |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。                       |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。                                  |
| (評価コメント)  |  |
| 「虐待防止・苦情対応マニュアル」「苦情対応規定」に基づく苦情解決制度を整備して、入園案内や重要事項説明書に受付窓口を明記し、また対応フローチャートを玄関に掲示しています。施設長を苦情解決責任者、主任保育士や各クラス担任保育士を苦情受付担当者として迅速に取り組み、また公平な立場による判断と個々のケースに配慮した対応に関し提言等ができるように第三者委員を設置しています。本部ホームページにはアプリを活用した相談窓口を設け、さらに保護者がいつでも会社運営部宛に、運営・職員・設備・転園等について意見や要望を書き込める集書を玄関に配置し、法人グループネットワークで共有して周知する体制を整備しています。      |  |
| 14  | 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。          |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。                       |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。      |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 自己評価や第三者評価の結果を公表している。                                      |
| (評価コメント)  |  |
| 保育実践について年2回の自己評価シートを活用して目標達成や課題発見により改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っています。職員は年間指導計画に基づく月案、週案に必ず実施面の振り返りを記入し施設長や主任(場合により副主任)との面談で振り返り、アドバイスや指導を受けています。こうしたPDCAサイクルの恒常的な取り組みを行い、より質の高い保育へ繋げています。また法人内監査で園の取り組みを評価し課題の改善に努めています。第三者評価は今年度初回の受審となり、結果について保護者や地域に公表の予定です。   |  |
| 15  | 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 業務の基本や手順が明確になっている。   |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。                          |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | マニュアル見直しを定期的の実施している。                                       |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。                                   |
| (評価コメント)  |  |
| 保育や給食などの業務内容等に関するマニュアルを整備し定期的に見直し、改訂した内容を職員教育ほか実践で活用しています。職員会議の中で共有する機会を設け、活動状況や季節に合わせたマニュアルの読み合わせを行い、また業務で分からないことを確認する等で保育が不安なくできるよう日常業務で有効に役立っています。園独自のルールについては年度初めに話し合い職員の参画のもと改善、追加に取り組んでいます。   |  |
| 16  | 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。                                   |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。                 |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。                            |
| (評価コメント)  |  |
| 保育園の施設見学や相談会、保育体験会を開催し、法人ホームページや園のブログ(ドキュメンテーション)、案内チラシの掲示等で情報を発信しています。園見学や問い合わせは随時受け付けて主に施設長が対応しています。参加者の要望を考慮して実際の園児のいる日に開催して園庭の大型遊具(AINI)や園内の玩具などの遊び体験を取り入れています。   |  |
| 17  | 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。                |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。           |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。                                 |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。                                 |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。                     |
| (評価コメント)  |  |
| 入園前説明会時に、入園案内や重要事項説明書を配布し、園の理念や運営方針、特色である幼児教育の取り組み、年間行事、日課などについて説明を行い、説明後には同意書に署名捺印を頂いています。重要事項説明書にはアレルギー対応を含む子どもの健康管理や給食対応、災害時の安全対策、必要書類のほか、園の利用にあたっての基本的ルール「利用者ガイド」で分かりやすく説明しています。利用開始時には個別面談を行い、保護者の意向や要望、配慮する事項などを記録に残して達成状況を確認のうえ評価する予定にしています。   |  |
| 18  | 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。                  |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。     |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。             |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。                             |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。                  |
| (評価コメント)  |  |
| 年間指導計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨を捉えて法人が作成し、地域の実態やこどもの背景を考慮した内容を計画に組み入れ編成しています。全職員は全体的計画内容を確認したうえで、こどもの発達段階や家庭の状況について児童票や就労証明書等から把握して各クラスの月案、週案、個別指導計画を作成しています。また地域の実態については、保護者からの情報提供や地区の幼保こ小連絡会などを通して情報を収集し、それらについて指導計画の作成に活かしています。  |  |
| 19  | 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。                |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。        |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。            |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。                                  |
| <input checked="" type="checkbox"/>   | 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。                                      |

|   |   |
|---|---|
| (評価コメント)  |   |
| <p>中長期的な年間指導計画に基づき、子どもの生活や発達を見通した短期的指導計画として月案、週案を作成し、それぞれ計画が連動する形で子どもの生活や発達を支援しています。また、3歳未満児に関しては個別計画を作成し、個々の成長や発達の度合いに応じて擁護と教育を一体的に展開しています。計画について毎月のクラス会議で評価や反省を行うとともに、昼礼や申し送り表を活用した連携体制のもとで職員全体に周知を図り、子どもの無限の可能性を引き出すように取り組んでいます。特別な配慮を要することもについては個別計画を立案し、個々の状態に応じた保育を提供しています。2ヶ月毎のビデオオンプレックスでは撮影した保育の様子を検証し、子どもの動きや関わり方、環境面の配慮など、保育士として求められる「気づき」を促し、計画に反映しています。</p>  |   |
| 20  | <p>子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりを受容し、子どもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場が用意されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。</li> </ul>   |
| (評価コメント)  |   |
| <p>子どもが主体的に活動できる環境づくりを大切に、一人ひとりの子どもを受容し、その発達や状態に応じた保育内容・方法・環境整備に配慮しています。園内には、年齢や興味に応じた玩具・遊具を用意し、子どもが自由に選んで遊べるよう環境を整えています。素材や用具は自分で取り出せるよう工夫されており、好きな遊びができるスペースと時間を確保しています。園庭には、運動機能の発達を促すオリジナル大型遊具「AINI」を設置。トンネル・階段・クライミングウォール・プラネタリウムなど、多様な動きを体験できる構造となっています。天候や熱中症アラート発令時にも、室内で楽しく体を動かせるよう、マット・トンネル・バランスストーンなどの室内遊具を充実させています。職員は子どもの声を聴くことで、子どもの興味を探り、行事会議や乳児会議で話し合い、子どもの興味に合わせて各クラスのおもちゃ箱の中の玩具を入れ替えています。</p> |   |
| 21  | <p>乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。</li> </ul>                 |
| (評価コメント)  |   |
| <p>子ども一人ひとりの個性や発達に応じて、午睡や食事のタイミングを柔軟に対応しています。0歳児保育室だけでなく、広い廊下や園庭も活用し、十分な運動スペースを確保することで、子どもがのびのびと身体を動かせる環境を整えて、温かい触れ合いの中で、自ら体を動かそうとする意欲や探索意欲を育てる保育を心がけています。職員は、子どもとの個別の関わりを大切に、喃語などに応答的に関わることで、安心感と信頼関係を育んでいます。保護者とは送迎時や連絡帳を通じて積極的に情報を共有し、連携を深め、相談などにも個別で対応しています。子どもの発達状況は、担当職員間で常に共有し、昼礼や職員会議などを通じて園全体で把握しています。</p>   |   |
| 22  | <p>1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(子どもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。</li> </ul> |
| (評価コメント)  |   |
| <p>基本的な生活習慣について、子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に、手洗いや着替え、排泄なども余裕を持った時間設定の中で取り組めるよう配慮しています。友だちとの関わりでは、職員は子どもの気持ちを代弁しながら、お互いの気持ちに気づけるような言葉がけで丁寧に伝えています。子どもが安心して探索活動ができるよう、安全に配慮した環境づくりを行い、子どもの興味に合わせた遊びを取り入れています。保護者とは送迎時や連絡帳を通じて積極的に連携し、相談にも丁寧に対応しています。また、子ども一人ひとりの生育歴や発達状況は担当職員間で常に共有し、昼礼や職員会議を通じて全職員が把握しています。日々の遊びや関わりの中で、子どもの主体性と人とのつながりを育む保育を心がけています。</p>  |   |
| 23  | <p>3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。</li> </ul>   |
| (評価コメント)  |   |
| <p>衣服の着脱や荷物・食器の片付けなど、子どもが自分のできるような環境を整え、達成感を味わえるよう配慮しています。子どもの興味や関心に合わせて、コーナー遊びの玩具や素材を用意し、自由な発想を形にできるよう支援しています。遊びのコーナーを段ボールで仕切るなど視覚的にわかりやすく工夫し、手先を使いたい子や体を動かしたい子が自分の遊びの場を理解して安全に活動できるようにしています。職員は子ども同士の関わりを見守りながら、必要に応じて気持ちを代弁し、子どもたち自身で解決できるよう促しています。保護者とは送迎時や連絡帳を通じて積極的に連携し、3～5歳児クラスでは担任間で子どもの状況を密に共有しています。また、希望することもは保育時間中に外部講師による幼児算数講座や体操教室を利用することができます。</p>   |   |
| 24  | <p>身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。</li> </ul>   |

|          |                                       |   |   |
|----------|---------------------------------------|---|---|
| (評価コメント) |                                       | お散歩マップを作成し玄関に掲示することで、保護者にも活動内容をわかりやすく伝えています。散歩の際には、地域の方々と元気に挨拶を交わしながら、草花の観察や駅・電車の見学など、身近な環境に親しむ機会を大切にしています。4・5歳児クラスではカブトムシの飼育や園庭での虫取り、掃除のお手伝いなどを通じて、命や生活への関心を育んでいます。勤労感謝の日には、隣の交番やお花屋さん、駅など地域の方々へ感謝の気持ちを込めたお手紙を届ける活動も行っています。園庭で夏野菜やお米を栽培し、観察や収穫をして、収穫物に因んだ料理を食べることで食への興味を促しています。今年から近くの畑を借りてサツマイモを栽培しており、秋に保護者のボランティアさんと一緒にお芋掘りに行く予定です。     |   |
| 25       | 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。             | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。                                    |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 異年齢の子どもとの交流が行われている。   |
| (評価コメント) |                                       | 職員の言葉かけを人間関係づくりの大切な要素と捉え、職員研修や会議を通じて日々振り返りを行い、職員間で前向きな変化が見られるようになってきました。遊びや生活の中でルールのある活動を取り入れ、子どもが気持ちを調整しながら友だちと関わる力を育んでいます。トラブル時には職員が安全に配慮しながら仲立ちし、自分たちで解決できるよう見守ることで、相手の気持ちに気づく力を育てています。5歳児クラスでは当番活動などを通して、役割を果たすことの大切さや自発的な行動力を養っています。朝夕の合同保育や土曜日保育では異年齢交流を取り入れ、思いやりや協力する心を育んでいます。5歳児と2・3歳児がペアになって手をつなぎ散歩に出かけるなど、温かい関わりの中で育ち合いを大切にしています。 |   |
| 26       | 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。      | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子ども同士の関わりに対して配慮している。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。  |
| (評価コメント) |                                       | 特別な配慮が必要な子どもに対して、発達の状況に応じた個別の指導計画を立て、職員会議や乳児・幼児会議を通じて情報を共有しながら対応しています。系列会社に児童発達支援施設や訪問型療育支援サービスがあり、療育が必要な子どもには児童発達管理責任者や訪問支援員が定期的に来園し支援を行い、記録をしています。受給対象外の発達が気になる子どもについても、専門職に職員が相談をしたり助言を受けながら対応することで、より適切な保育につなげています。保護者とは送迎時などに密に連携し、不安がある場合には個別面談を行い、必要な情報を提供することで安心して子育てができる環境づくりに努めています。  |   |
| 27       | 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。              | <input checked="" type="checkbox"/>   | 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 担当職員の研修が行われている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。  |
| (評価コメント) |                                       | 保育時間が長い子どもに対して引継ぎ事項は番書の職員に引き継ぎ簿と口頭で伝達することで迎えに来た保護者に適切に子どもに関する情報を伝える体制を整えています。時間外保育担当職員は必要に応じた内部研修を受けています。延長保育時については、個々の体調や子どもの疲労度も考慮し、水分の提供や必要に応じてマットを用いて、子どもが安心してゆったりと過ごせる環境を整備しています。合同保育の時間帯はパーティションを用いて幼児・乳児を分けるとともに、人数が少なくなると1つのクラスに編成することで、長時間の利用でも友だち同士で遊びながら、楽しくゆったりと過ごすことができるように配慮しています。  |   |
| 28       | 家庭との連携が十分図られている。                      | <input checked="" type="checkbox"/>   | 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。               |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。 |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   |   |
| (評価コメント) |                                       | 年に2回ほど個人面談を実施し、保護者との情報交換や育児相談の機会を設けています。保育参観や保育参加も年2回ほど行い、記録を残しています。保護者からの相談には随時対応し、必要に応じて内容を記録し上司へ報告しています。外国にルーツをもつ家庭やひとり親家庭など、特別な配慮が必要な家庭には、連絡帳をわかりやすく記載したり、母語での説明を行うなど個別の支援を行っています。運動会などで保護者が競技参加する際には、競技の間、職員が下の子どもを預かるなどの支援を行い、安心して参加できるよう配慮しています。   |   |
| 29       | 地域社会との連携が十分図られている。                    | <input checked="" type="checkbox"/>   | 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。                                    |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 就学に向けて、保育所等の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。                                  |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定子ども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。                            |
| (評価コメント) |                                       | 地域の中高校生によるボランティアを積極的に受け入れており、夏祭りでは「夏ボラのススメ」を活用して中学生の参加も行っています。ボランティア受け入れにあたっては、専用のマニュアルを整備し、円滑な対応を図っています。就学に向けた取り組みとして、職員は年3回「柏市幼保こ小地区別連絡会議」に参加し、地域のニーズや小学校との連携について情報共有を行ったり、小学校の授業参観に参加したり、5歳児クラスが小学校を訪問して1年生との交流会や運動会練習の見学などを行い、就学への期待や安心感を育んでいます。子どもの育ちを支えるため、保護者の同意のもと、保育所児童保育要録などの情報を小学校へ送付し、スムーズな連携を図っています。                           |   |
| 30       | 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/>   | 子どもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。   |
|          |                                       | <input checked="" type="checkbox"/>   | 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。   |

|  |  |
|--|--|
| (評価コメント)   |  |
| 不適切な養育の兆候や虐待の有無も含めて、現状は実例がありません。マニュアル整備や必要に応じて児童相談所等の関係機関に連絡し、連携できる体制は整えています。  |  |
| 31   | <p>子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。</li> </ul>   |
| (評価コメント)   |  |
| 毎朝の保護者からの申し送りや視診・検温を通じてこどもの健康状態を確認し、保育日誌に記録しています。年2回、嘱託医による内科、年1回、歯科検診を実施し、結果を家庭と共有することで、発達や健康状態を定期的に把握できる体制を整えています。毎月の身体測定では、成長の様子を継続的に確認しています。午睡時には全園児を対象にSIDS(乳幼児突然死症候群)予防のチェックを行い、アプリに記録しています。乳児にはセンサーと目視の両方で寝姿勢を確認し、安全に配慮しています。SIDSについては、園見学や入園説明会の際に、メーカーのパンフレットを使用して保護者へ説明を行っています。  |  |
| 32   | <p>感染症、疾病等の対応は適切に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。</li> </ul>                       |
| (評価コメント)   |  |
| 感染症発生時に備えた業務継続計画(BCP)を策定し、定期的な見直しと職員への周知を行っています。保育中に体調不良やけがが発生した際は、対応マニュアルに沿って職員間で連携し、応急処置を行ったうえで施設長へ報告し、必要に応じて保護者や医療機関と連携しています。感染症予防に努め、発生時には嘱託医や保健所、市町村の指示に従い、保護者や職員へ情報を共有しています。感染状況は玄関掲示・ほけんだより・CCSアプリで周知し、流行時には手洗いや消毒を徹底しています。医務スペースを事務室内に設け、救急用品を常備し、各クラスにも救急箱を配備し、全職員が適切に対応できる体制を整えています。   |  |
| 33   | <p>食育の推進に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。</li> </ul> |
| (評価コメント)   |  |
| 調理職員が中心となり、0歳から5歳までの年齢に応じた食育計画を立てて実施しています。園庭では夏野菜や稲の栽培を行い、水やりや収穫を通して食材への興味を育てています。こどもたちで話し合って収穫物を使ったメニューを決めて、ジャム作りやラップおにぎり、ピザ作りなど調理してもらい皆で食べる等、年齢に合わせた参加型の食育活動も行っています。食物アレルギーのあるこどもには、個別の献立表を作成し、保護者の承認のもとで除去や代替対応を行っています。配膳時には色分けされたトレーを使用し、給食担当と保育者が確認し合うことで誤配膳を防ぎ、テーブルを分けています。アレルギーのある乳児には個別対応を行い、他のこどもが食後の手洗いが終わるまで動線を分けるなど安全に配慮しています。入園面談で未食チェック表を用いて確認し、自宅で2回食べた後にヒヤリングし、食べ具合や堅さ、大きさなど確認してから園で提供しています。調理職員は食事時間にクラスを訪問し、食べる量の確認やお箸の練習のサポート等も行っていきます。偏食に関しては、無理強いなどは行わず、「一口だけ食べてみよう」などの声掛けのみを行い、収穫した食材を調理する際には、野菜をドレッシングにしたり、刻んでホットケーキにしたりと工夫して普段食べられないこどもも食べられるように工夫しています。 |  |
| 34   | <p>環境及び衛生管理は適切に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。</li> </ul>   |
| (評価コメント)   |  |
| 室内の温度・湿度・換気・採光・音環境を常に快適に保ち、衛生管理マニュアルに基づいて加湿器や空気清浄機、床暖房などを活用しています。施設内外の設備や玩具は、消毒・清掃を計画的に実施し、チェック表で管理しています。乳児用の玩具は口に入れても安全のように消毒し、室内外の玩具も整理整頓されています。こどもたちには使い捨てペーパータオルを使用した手洗いを徹底し、食事前や遊びの後などに手洗いの衛生習慣が自然に身につくよう配慮しています。   |  |
| 35   | <p>事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。</li> </ul>  |
| (評価コメント)   |  |
| 「事故対応マニュアル」を整備し、毎日の遊具の目視点検と週ごとの安全点検をチェックリストに基づいて実施しています。事故やけがが発生した際は、事故報告書を作成し法人本部へ提出するとともに、職員会議でヒヤリハット事例を共有し、未然防止に努めています。職員の対応力向上のため、救命技能講習を全職員対象に実施しています。散歩時には点呼表を記入し、防犯ブザーや笛を携帯するなど安全対策を徹底しています。不審者対策として、防犯カメラやオートロックドア、送迎カードの運用を行い、定期的な訓練も実施。昼礼での周知や共通の合言葉の活用、事前の対応内容の確認などを通じて、職員間の連携と対応力を高めています。  |  |

|    |                                |                                     |   |
|----|--------------------------------|-------------------------------------|---|
| 36 | 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 災害発生時における業務継続計画 (BCP) が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 |
|    |                                | <input checked="" type="checkbox"/> | 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。            |
|    |                                | <input checked="" type="checkbox"/> | 定期的に避難訓練を実施している。  |
|    |                                | <input checked="" type="checkbox"/> | 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。                         |
|    |                                | <input checked="" type="checkbox"/> | 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。                     |
|    |                                | <input checked="" type="checkbox"/> | 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。                        |

(評価コメント)

非常災害発生時に職員と子どもたちが落ち着いて行動できるよう、毎月避難訓練・年2回総合訓練・引き渡し訓練を実施しています。ハザードマップ上では災害リスクの低い地域に位置していますが、火災・地震・津波・台風・不審者対応など、さまざまな事態を想定した訓練を行い、時間帯や人員配置を変えることで、どのような状況でも安全に避難誘導ができる体制づくりに努めています。また、実際に避難場所まで移動する総合訓練を通じて、園舎周辺の環境を踏まえた災害対応力の向上を図っています。危機対応および安全管理マニュアルを整備し、職員は分担表を確認しながら、日頃から役割を意識した行動ができるよう取り組んでいます。職員や保護者への安否確認方法等も決めており、職員に周知しています。

|    |                             |                                     |   |
|----|-----------------------------|-------------------------------------|---|
| 37 | 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の子育てニーズを把握している。                                 |
|    |                             | <input checked="" type="checkbox"/> | 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 |
|    |                             | <input checked="" type="checkbox"/> | 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。                          |
|    |                             | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の子育て支援に関する情報を提供している。                            |
|    |                             | <input checked="" type="checkbox"/> | 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。                   |

(評価コメント)

地域の子育て世代を対象に「保育体験・子育て相談会」を定期的に開催し、親子で園の保育内容や遊びを体験できる機会を提供しています。参加者の年齢や人数に応じて、園の玩具や設備を使った遊びやふれあい活動、制作などを行い、子育てに関する相談や情報提供も行いながら、必要な支援や地域課題を見極めていきます。地域交流として、勤労感謝の日には交番や駅へ感謝の気持ちを伝えに訪問したり、散歩中に地域の方々と挨拶を交わすなど、社会体験の機会を大切にしています。総合訓練時に消防署の方を招いての交流も行っています。近隣のお花屋さんの紹介で、さつまいもを植えられる畑をお持ちの農家さんを紹介していただき、その畑の管理は近隣の就労継続支援センターが協力してくださっています。また、病児保育などの地域支援情報は「柏市幼保こ小地区別連絡会議」などを通じて得ており、地域との連携を深めながら子育て支援に取り組んでいます。